

町民の声 何でも言って!! みんなの願い・想い

国道4号線へ向かい、吹方面化の設置をお願いしたいです。
出入口の信号機を近(株)井セキ東北付



久来石区町道のマインホールが浮いていたり、改善をお願いします。

町内のごみ拾いを推進するために、拾ったごみの量に応じて特産品などと交換ができたり、マイナンバーカードにポイントをつけるなどができたら、町のごみも減り、マイナンバーカードの普及率もあがると思います。(町ホームページより投稿)

追跡レポート あの意見 どうなった?

町民の声でいただいたご意見の中からピックアップし、その動き・現在の状況をお知らせします。

地震の被害を想定出来る「地盤情報マップ」の作成を提案します。建物倒壊などの被害が、最小限で済むと考えられます。
(No.185号より)

地震による建物被害の軽減を目的とした、木造住宅耐震化を進めております。ご提言いただいた、「地盤情報マップ」については検討させていただきます。
(総務課)

Answer

役場職員の方をお願いします。庁舎内の雰囲気は暗いです。もっと元気に明るくしてください。
(No.185号より)

あいさつは基本であることから、「明るく元気なあいさつ」を心がけてまいります。
(総務課)

町民の皆さんが議会にしてほしいこと、町民の声募集

議会だより紙面で紹介いたします。多くの声をお待ちしています。郵送、持参のほかに、町ホームページからも投稿できます。



スマートフォンはコチラ

鏡石町議会事務局 〒969-0492 鏡石町不時沼345 電話62-2110
URL / www.town.kagamiishi.fukushima.jp/

編集後記

令和4年も11月を迎え、冬將軍の便りがあちらこちらで聞こえる季節となりました。

我が鏡石町も本年、町制施行60周年の佳節を迎え、10月に開催された記念式典では、多くの町民がお祝いをしました。

長年の功労を称えられ、表彰の栄に浴された方々に對しまして、心からお祝と感謝を申し上げると共に、今後も町発展のために変わらぬご尽力をお願いしたいと思っております。

今後も、さらなる町の発展のために、議会と執行が良き知恵を出し合って頑張つて参ります。

発行責任者 議長 古川 文雄

広報広聴常任委員会

- 委員長 角田 真美
- 副委員長 小林 政次
- 委員 畑 幸一
- 委員 込山 靖子
- 委員 橋本 喜一
- 委員 菊地 洋

No.186
令和4年11月
発行 福島県鏡石町議会
編集 広報広聴常任委員会
〒969-0492 福島県鏡石町不時沼345
電話0248(62)2110
印刷 南 永 山 印刷

かがみいし 議会だより

五色沼の自然の中で はいポーズ!

目次

第13回定例会	2～3ページ
審議結果・委員会報告	4～6ページ
第12回臨時会・トピックス	7～8ページ
一般質問	9～15ページ
町民の声	16ページ



学校法人栄光学園 認定こども園 ぶどうの木の園児たち (裏磐梯五色沼遠足)

令和3年度各会計決算を認定
決算総額は110億6,370万円
1億4,552万円の黒字決算

第13回鏡石町議会定例会は、9月6日（火）から16日（金）までの11日間の会期で開催され、議案など全29件を審議しました。



議案など全29件審議

令和3年度の各会計歳入歳出決算認定については、決算審査特別委員会が審査を行い、全会計を全会一致で決算書のとおり認定しました。決算総額は、110億6,370万円で、1億4,552万円の黒字決算となりました。

その他の議案では、財政健全化法に基づく報告1件、教育委員の選任1件、特別功労表彰の同意4件、条例改正1件、令和4年度補正予算8件、議員発議関連4件（うち1件撤回）、陳情6件、意見書案2件などが審議されました。

（審議結果は4〜5ページ）

また、一般質問は9月7日（水）と8日（木）の2日間で行われ、6名の議員が登壇しました。

駅東第1土地区画整理事業特別会計
操出金など増額補正

令和4年度一般会計補正予算では、1億5,807万円の増額され、一般会計の予算総額は、74億4,524万円となりました。

一般会計の主な補正予算

(歳入)	
・前年度繰越金	9,591万円
(歳出)	
・駅東第1土地区画整理事業特別会計操出金	5,400万円
・財政調整基金積立金	4,800万円
・成田411号線舗装修繕工事	1,500万円
・ため池浚渫設計業務委託	1,130万円

令和3年度 歳入歳出総括表

会計区分	歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)	形式収支 (A) - (B)	実質収支
一般会計	7,430,890	7,278,619	152,271	125,913
国民健康保険特別会計	1,299,223	1,295,399	3,824	3,824
後期高齢者特別会計	121,618	121,128	490	490
介護保険特別会計	1,113,711	1,104,995	8,716	8,716
土地取得事業特別会計	93	0	93	93
工業団地事業特別会計	46,324	45,802	522	522
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	326,884	321,645	5,239	1,239
育英資金貸付費特別会計	2,993	2,990	3	3
公共下水道事業特別会計	596,473	593,193	3,280	2,772
農業集落排水事業特別会計	125,483	123,380	2,103	1,948
小計	11,063,692	10,887,151	176,541	145,520
上水道事業会計	収益的	439,403	245,627	193,776

*実質収支とは、歳入歳出差引額（形式収支）から翌年度へ繰越すべき財源を控除した決算額です。

決算審査特別委員会

令和3年度の各会計決算認定については、9月6日の本会議において、決算審査特別委員会（吉田孝司委員長外8名）が設置され、9月12日から14日までの3日間、審議を行いました。

全11会計決算の主な内容や町債残高の状況、主要な財政指数及び財政健全化判断比率の報告を受け、各課事業内容等の説明の後、質疑応答を行いました。

特別委員会では、全会計承認すべきと採決され、9月16日の本会議において、意見を付して報告し、決算書のとおり認定することに決しました。



決算審査特別委員会

教育委員会委員を任命

現職委員の辞任に伴う教育委員会委員の任命について、鈴木健生氏（中町）の任命案が提出され、全会一致で同意されました。

鈴木氏の任期は、令和4年10月1日から4年間となります。

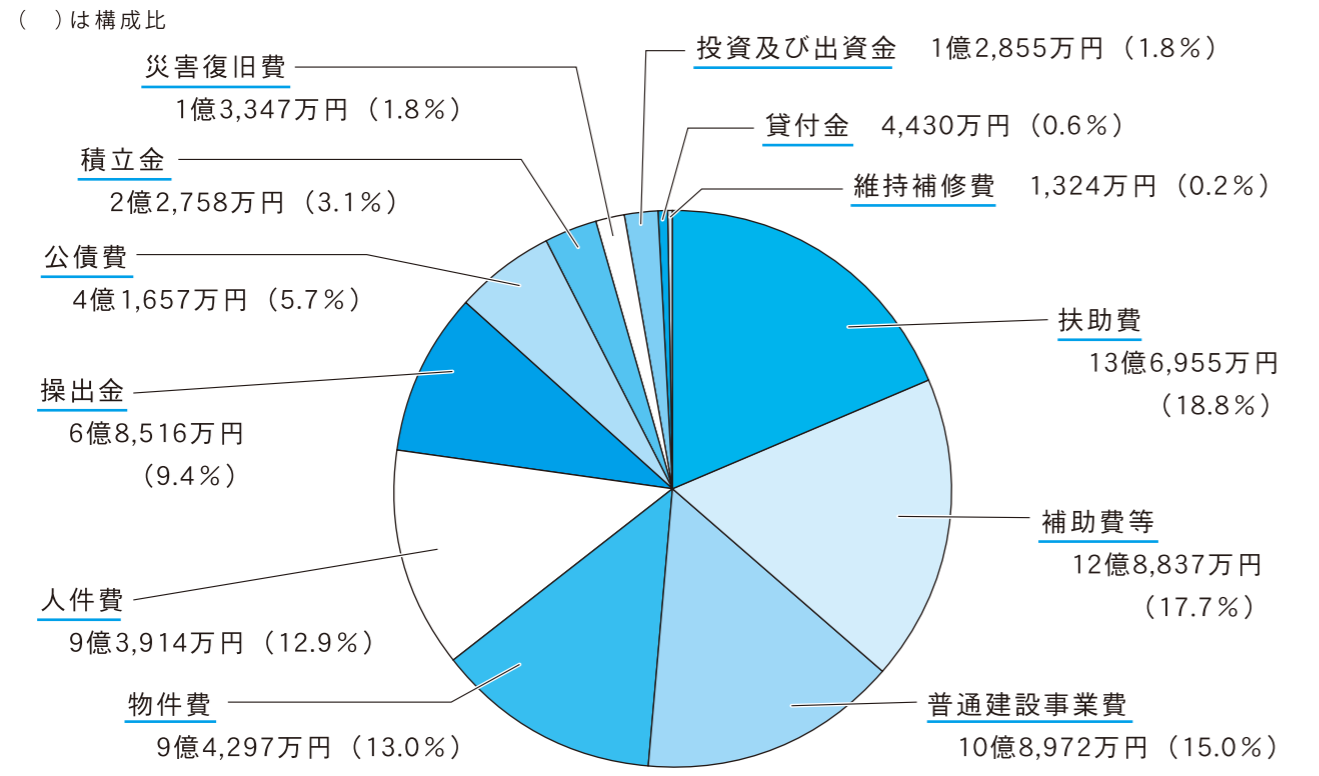
特別功労表彰4名同意

今定例会では、10月19日の鏡石町制施行60周年記念式典において、特別功労者として表彰を受ける対象者4名の議案が提出され、全会同意されました。

なお、特別功労表彰は、本町発展のために多大な貢献をされてきた方を対象とするもので、議会の同意が必要となります。皆様、おめでとうございます。

- 遠藤栄作氏（東町）
- 今泉文克氏（鏡沼）
- 稲田幸吉氏
- 古川恵美子氏（東町）

令和3年度 一般会計歳出決算 72億7,862万円の内訳



町債残高の推移

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	増	減	増	減	増	減
普通会計	5,453,276	△ 17,179	5,713,538	260,262	6,266,283	552,745
特別会計	3,512,651	△ 102,609	3,415,833	△ 96,818	3,356,612	△ 59,221
合計	8,965,927	△ 119,788	9,129,371	163,444	9,622,895	493,524

※普通会計（一般会計、駅東第1土地区画整理事業特別会計） 特別会計（公共下水道事業、農業集落排水事業）

議案等番号	議案件名及び概要	審議結果
議案第 250 号	令和 4 年度鏡石町一般会計補正予算（第 4 号） （令和 3 年度決算に伴う繰越金や財政調整基金積立金など 158,064 千円の増額補正）	可決
議案第 251 号	令和 4 年度鏡石町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号） （令和 3 年度決算に伴う繰越金など 3,822 千円の増額補正）	可決
議案第 252 号	令和 4 年度鏡石町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号） （令和 3 年度決算に伴う繰越金など 488 千円の増額補正）	可決
議案第 253 号	令和 4 年度鏡石町介護保険特別会計補正予算（第 1 号） （令和 3 年度決算に伴う繰越金など 19,018 千円の増額補正）	可決
議案第 254 号	令和 4 年度鏡石町工業団地事業特別会計補正予算（第 1 号） （令和 3 年度決算に伴う繰越金など 936 千円の増額補正）	可決
議案第 255 号	令和 4 年度鏡石町鏡石駅東第 1 土地区画整理事業特別会計補正予算（第 2 号） （令和 3 年度決算に伴う繰越金や区画整理地内の造成工事など 55,238 千円の増額補正）	可決
議案第 256 号	令和 4 年度鏡石町公共下水道事業特別会計補正予算（第 1 号） （令和 3 年度決算に伴う繰越金など 2,770 千円の増額補正）	可決
議案第 257 号	令和 4 年度鏡石町農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号） （令和 3 年度決算に伴う繰越金など 1,946 千円の増額補正）	可決
陳情第 18 号	沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情 （辺野古新基地建設断念などを求めるもの）	不採択
陳情第 21 号	子どものために配置基準引き上げによる保育士増員を求める意見書の提出を求める陳情書 （配置基準引き上げによる保育士増員を求めるもの）	採択
陳情第 22 号	重度心身障がい者医療費助成制度に関する陳情書 （医療機関受診時の窓口負担の免除を求めるもの）	採択
陳情第 23 号	多核種除去設備等処理水の海洋放出設備着工前了解取り消しに関する陳情書 （処理水の海洋放出のためのトンネル工事着工に伴う事前了解取り消しを求めるもの）	採択
陳情第 24 号	ひとり親家庭医療費助成制度に関する陳情書 （医療機関受診時の窓口負担の免除を求めるもの）	採択
陳情第 25 号	鏡石町成田地区遊水地整備事業に関する陳情書 （阿武隈川緊急治水対策プロジェクトの計画見直しを求めるもの）	継続 審査
発議第 7 号	鏡石町議会改革特別委員会の設置について （吉田孝司議員提出：内容や時期の再検討のため提出議員が撤回）	撤回
発議第 8 号	鏡石町寝たきり高齢者等介護手当支給条例の制定について （吉田孝司議員提出：寝たきり高齢者等の介護者に対する手当を支給する条例制定の提案）	継続 審査
発議第 9 号	「エネルギー基本計画」を堅持し、再生可能エネルギーの普及を求める意見書の提出について （込山靖子議員提出：原発からの脱却を目指し再生可能エネルギーの推進・普及を求めるもの）	可決
発委第 1 号	阿武隈川流域の治水対策を国及び県に求める意見書の提出について （阿武隈川緊急治水対策プロジェクトに係る対応を求めるもの）	可決
意見書案第 16 号	子どものために配置基準引き上げによる保育士増員を求める意見書案 （陳情第 21 号採択に伴う意見書）	可決
意見書案第 17 号	多核種除去設備等処理水の海洋放出設備着工前了解取り消しを求める意見書案 （陳情第 23 号採択に伴う意見書）	可決

第 13 回定例会 審議の結果（賛否が分かれたもの）

「○」賛成 「×」反対 「－」採決に加わらない。その他の議案は全会一致で可決した。

議案等番号	畑 幸一	込山 靖子	吉田 孝司	角田 真美	橋本 喜一	菊地 洋	小林 政次	大河原 正雄	今泉 文克	円谷 寛	古川 文雄	審議結果
議案第 244 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	同意
陳情第 18 号	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	－	不採択
発議第 9 号	×	○	○	×	○	○	×	×	○	○	－	可決

監査委員の決算審査・財政健全化審査意見（要旨）

◎審査に付された一般会計、特別会計及び上水道事業会計の歳入歳出決算書・歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は法令に準拠して作成されており、決算計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りないものと認められた。

また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても、関係諸帳簿及び証拠書類と符合しており、誤りのないものと認められた。

◎健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。

◎令和 3 年度は、主要施策である第 5 次総合計画の最終年度となった。この 5 年間は新型コロナウイルス感染症、地震災害等波乱の年月であったが、諸計画の目標が達成されたかを検証し、新たな総合計画の目標達成に向かってほしい。令和 4 年度も引き続き新型コロナウイルス感染症対策に追われる年度となることが予想され、厳しい状況が続く。今後の課題は進行中の健康福祉センターの建設、新浄水場建設等に伴い増加した町債・企業債の対応であろう。諸政策の見直しを行いながら出来る限りの圧縮に努め健全財政の維持を図ってほしい。

主要財政分析指標

	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
財政力指数	0.608	0.616	0.597
経常収支比率	85.6%	85.9%	81.9%

財政健全化判断比率

（単位：％）

	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	早期 健全化基準
実質赤字比率	－	－	－	15.0
連結実質赤字比率	－	－	－	20.0
実質公債費比率	8.5	8.1	8.5	25.0
将来負担比率	20.1	30.2	40.9	350.0

第 13 回定例会 審議の結果

◎令和 4 年 9 月定例会提出議案 29 件

（認定 1 件、報告 1 件、人事 1 件、条例改正 1 件、補正予算 8 件、議員発議関係 4 件、陳情 6 件、意見書案 2 件、その他 5 件）

議案等番号	議案件名及び概要	審議結果
認定第 4 号	令和 3 年度鏡石町各会計歳入歳出決算認定について （令和 3 年度一般会計外 10 会計決算の認定）	認定
報告第 66 号	令和 3 年度鏡石町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について （地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告）	報告のみ
議案第 243 号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて （現職委員辞任に伴う鈴木健生氏の任命同意）	同意
議案第 244 号	特別功労表彰につき同意を求めることについて （表彰条例第 1 号に基づき、遠藤栄作氏を特別功労者として表彰することの同意）	同意
議案第 245 号	特別功労表彰につき同意を求めることについて （表彰条例第 2 号に基づき、今泉文克氏を特別功労者として表彰することの同意）	同意
議案第 246 号	特別功労表彰について同意を求めることについて （表彰条例第 6 号に基づき、稲田幸吉氏を特別功労者として表彰することの同意）	同意
議案第 247 号	特別功労表彰について同意を求めることについて （表彰条例第 7 号に基づき、古川恵美子氏を特別功労者として表彰することの同意）	同意
議案第 248 号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について （非常勤公務員の育児休業等の取得要件等の緩和の改正）	可決
議案第 249 号	令和 3 年度鏡石町上水道事業会計未処分利益剰余金の処分について （令和 3 年度決算に伴う利益剰余金 57,000 千円の積立）	可決

タブレット端末の使用状況を現地調査

＜総務文教常任委員会＞



鏡石中学校を現地視察

9月9日(金)に、総務文教常任委員会(菊地洋委員長)が開催され、陳情1件の審議及び町立小中学校におけるタブレット端末(iPad)の使用状況を現地調査しました。鏡石中学校では、全学年の授業風景を視察したほか、津金校長や担当課(教育課)から説明を受け、タブレットの活用方法や課題についてなど、さまざまな意見交換を行いました。

健康福祉センターの建設状況を調査

＜産業厚生常任委員会＞



健康福祉センターを現地視察

9月9日(金)に、産業厚生常任委員会(大河原正雄委員長)が開催され、議案1件、陳情4件の審議及び健康福祉センターの建設工事の進捗状況について調査しました。健康福祉センターは、調査時点で鉄骨の組立工事を施工しており、委員は、担当課(福祉こども課)から現在の進捗状況及び今後の工事の予定の説明を受けました。今後も進捗状況を、引き続き調査していきます。

陳情を慎重審議

＜成田地区遊水地整備事業調査特別委員会＞



特別委員会の様子

9月9日(金)に、鏡石町成田地区遊水地整備事業調査特別委員会(吉田孝司委員長)が開催され、陳情1件を慎重審議しました。参考人として陳情者の小抜三吉氏(岡ノ内)に出席していただき、陳情の趣旨や考えを確認するとともに、阿武隈川緊急治水対策プロジェクトについての現在の状況などを含め、町長、副町長及び担当課から説明を受けました。なお、今回の陳情は、継続審査となりました。

要望内容

- 1 遊水地事業区域内の住民の高台移転のための支援
- 2 移転に伴い生じる各種法令・規制の見直しや手続きの簡素化
- 3 阿武隈川本川及び県管理支川の鈴川も含めた治水対策
- 4 遊水地整備後の土地の有効利用のための支援

遊水地特別委員会発議の意見書案1件を可決

第13回定例会最終日に、成田地区遊水地整備事業調査特別委員会発議として、発案第1号「阿武隈川流域の治水対策を国及び県に求める意見書の提出について」が提出されました。意見書案の内容は、地区住民の生活再建及び精神的な不安解消にむけて国や県に支援等を要望するもので、全会一致で可決されました。

再生可能エネルギーの普及を求める意見書を可決

第13回定例会最終日に、議員提出議案として、発議第9号「エネルギー基本計画」を堅持し、再生可能エネルギーの普及を求める意見書」が提出され、賛成多数で可決されました。意見書では、原発依存からの脱却を目指し、原発再稼働や運転期間見直し等の指示の撤回を求めています。

渡辺定己氏が議員辞職

渡辺定己氏から、健康上の理由による辞職願が議長あてに提出され、地方自治法の規定に基づいて、8月23日付けで辞職が許可されました。渡辺氏は議員を5期務め、そのうち平成23年9月から令和元年9月まで2期8年にわたり議長を務めました。なお、辞職により欠員が1名となり、現在の議員数は11名となりました。

各委員会の構成が変わりました

渡辺氏の辞職に伴い、欠員となっていた議会運営委員と広報広聴常任委員にそれぞれ、小林政次議員と込山靖子議員が9月6日の本会議で決定しました。なお、現在の各委員会の構成は次のとおりです。

総務文教常任委員会(5名)		産業厚生常任委員会(6名)		広報広聴常任委員会(6名)		議会運営委員会(6名)	
委員長	菊地 洋	委員長	大河原正雄	委員長	角田 真美	委員長	橋本 喜一
副委員長	橋本 喜一	副委員長	角田 真美	副委員長	小林 政次	副委員長	菊地 洋
委員	込山 靖子	委員	畑 幸一	委員	畑 幸一	委員	畑 幸一
委員	小林 政次	委員	吉田 孝司	委員	込山 靖子	委員	角田 真美
委員	古川 文雄	委員	今泉 文克	委員	橋本 喜一	委員	小林 政次
		委員	円谷 寛	委員	菊地 洋	委員	大河原正雄

第12回臨時会

全2議案を審議

副町長の選任議案などを議決

第12回鏡石町議会臨時会は、令和4年7月21日(木)に開催されました。この臨時会では、副町長を選任する人事案件1件、降ひょう被害対策や物価高騰対策など的一般会計補正予算1件の全2議案が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。副町長には小貫秀明氏(中央)が任命されました。任期は令和4年7月22日から4年間です。



臨時会

第12回臨時会 審議の結果

議案等番号	議案件名及び概要
議案第 241 号	副町長の選任につき同意を求めることについて (小貫秀明氏の選任同意)
議案第 242 号	令和4年度鏡石町一般会計補正予算(第3号) (生活困窮世帯への物価高騰対策やひょう害緊急対策など17,937千円の増額補正)

※議案は、すべて全会一致で可決されました。

一般質問

令和4年9月 第13回定例会

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に問題点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

質問する議員は、執行当局に事前通告をします。本会議場での持ち時間は1人40分間で答弁の時間は含みません。10ページから一般質問の要旨を掲載しましたのでご覧下さい。

(紙面の都合上、質問の一部を割愛しています。)

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
10	角田 真美	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町長の政治姿勢について ○ 町の防災対策と対応について ○ 新浄水場完成による利用者への対応について ○ 鳥見山陸上競技場の再整備について
11	込山 靖子	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校給食について ○ 学校における食育・食学について ○ ゴミの減量化・リサイクル計画について ○ プラスチック使用製品廃棄物の分別収集について ○ 中学校運動部活動の地域移行について ○ 子どものマスク着用について ○ 女性が輝く町づくりについて ○ 生理の貧困について
12	小林 政次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 久来石行方蓮池西線(笠石南町地内町道の幅員狭小、急勾配の坂道、急カーブの箇所)の道路改良事業について ○ 農村婦人の家(農産加工室を含む)の復旧等の見直しについて ○ 駅に降りてみたくなる事業(鏡石駅東口整備事業)について ○ 阿武隈川上流遊水地群(第1遊水地 鏡石町)の整備事業について ○ 上水道第5次拡張事業にかかわる収支計画について ○ 笠石・鏡田線舗装修繕工事について ○ 重度心身障害者医療費助成制度について ○ 新年度予算について
13	吉田 孝司	<ul style="list-style-type: none"> ○ 木賊町長の政治姿勢について ○ 鏡石町における地域包括ケアの推進について
14	今泉 文克	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新町長木賊正男氏の新しい街づくりについて ○ 日本で2番目にすばらしい鏡石町を目指してについて ○ 大型開発事業について
15	円谷 寛	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成田遊水地計画の取り組みについて ○ 駅東開発(準工地域)の開発促進について ○ 企業誘致の促進について ○ 米余り対策の取り組みについて ○ 町結婚相談所の再設置について ○ 町民プール「すいすい」の改善について

議会傍聴へお越し下さい

次回の定例会は、12月となります。あなたの目と耳で確かめ、町政に参加しませんか。傍聴を希望される方は、役場庁舎2階の議会事務局事務室までお越し下さい。住所と氏名を書くだけで、どなたでも傍聴できます。

6名の議員が町政を問う

議会トピックス

岩瀬地方町村議会議員協議会

第1回 地方自治研究交流セミナー開催

地方議会のDXについて考える

岩瀬地方町村議会議員協議会(鏡石町議会・天栄村議会)では、9月28日(水)に天栄村生涯学習センターで地方自治研究交流セミナーを開催しました。

第1回目となる今回は、福島大学行政政策学類教授の佐々木康文氏を講師に迎え、地方議会のDXについて、今後の展望と議会の取り組みについて考えました。「DX(デジタル・トランスフォーメーション)」とは、デジタル技術の浸透によって、人々の生活があらゆる面でより良い方向へ変化し、社会に深い変革をもたらす取り組みのことです。



地方自治研究交流セミナーの様子

議会活動の様々な課題の中でも、デジタル化への対応やICT(情報通信技術)の活用など、DXの必要性が感じられるものは数多くあります。議員の仕事そのものと、その役割をパワーアップさせるために、できることから変えていく必要があると感じました。

◇ようこそ、鏡石町へ

福岡県宇美町議会が行政視察訪問

震災から復興への歩みについて行政視察訪問

10月14日(金)に、福岡県宇美町(うみまち)議会、の総務建設常任委員会が、震災復興への経過概要及び議員・議会の対応、住宅・建築の耐震化等の減災対策をテーマに行政視察に訪れました。

行政視察の中では、担当課(総務課)が東日本大震災をはじめとした様々な災害への対応と復興の歩み、減災対策への取り組みについて資料をもとに説明しました。

鏡石町議会からは、古川文雄議長、総務文教常任委員会の菊地洋委員長、橋本喜一副委員長の3名と議会事務局が対応し、東日本大震災当時の議会での対応などを説明、議員同士による防災対策の重要性を含めた活発な意見交換が行われました。



庁舎前で記念撮影



意見交換の様子

福岡県宇美町

人口約3万7千人。福岡都市圏に属し、町のおよそ6割が森林に囲まれ、史跡が多く現存する自然と歴史が調和した町



込山靖子議員

- 学校給食について
- 学校における食育・食学について
- ゴミの減量化・リサイクル計画について
- プラスチック使用製品廃棄物の分別収集について
- 子どものマスク着用について
- 女性が輝く町づくりについて
- 生理の貧困について

質問 町としては、学校における食育・食学は具体的にどのような計画で実施しているのか。

学校給食における食育・食学について

教育長 町立小中学校の給食は、野菜や果物は町内の小売業者から、米やパンなどの主食は学校給食会、その他の食材は取り扱い業者から仕入れ、校内で調理し子どもたちへ提供されている。地産地消としては、町立小中学校においては、福島県内産を含めて平均約45%となっており、米飯はすべて県内産米を使用している。

質問 学校給食における地産地消活用状況は、現状として平均で何%か。

学校給食について

質問

教育長

健康環境課長 一般廃棄物処理基本計画の中の令和5年度を最終目標とした計画値は、ごみ排出量一人一日あたりの目標値を818g、リサイクル率20%とする目標値を設定し、対策事業として、資源ごみの分別回収や集団資源回収事業等を推進し取り組んでいる。

ゴミの減量化・リサイクルについて

質問

教育長 ゴミの減量化やリサイクルについては、具体的数値目標を設定することは可能か。

健康環境課長

質問 水道料金の改定内容や時期はいつ頃か。

上下水道課長

改定については、明確な算定根拠を示すため、1年間の供用実績に基づく収支状況や、社会経済情勢等を勘案し、令和7年度以降に検討をして参りたい。

質問

企業進出の場合の水源地確保について問う。

上下水道課長

井戸の掘削には多額の費用が必要となり、現状では水道事業の経営状況が厳しくなることが想定されるため、新たな進出企業の水源確保を水道事業で対応するのは難しいと考える。

鳥見山陸上競技場の再整備について

質問

鳥見山陸上競技場の再整備について問う。

町長の政治姿勢について

質問

どのような政治姿勢で町政運営にのぞむのか。

町長

基本的には3つのS（エス）で取組みたい。一つ目は「スマイル」笑顔。二つ目は「スピード」迅速。三つ目は「シンプル」簡潔。信頼される行政で、政策と事業の見える化と情報発信の向上に取り組む。

質問

工業団地開発と企業誘致の進め方について問う。

町長

駅東第1土地区画整理事業区域内の第4・第5工区の用途が準工業地域で区画整理事業の進捗や工業団地としての実現性を踏まえ、町内に他に適地がないか調査を進めて参りたい。今後、工業団地開発の必要性について十分協議を重ねて参りたい。

町の防災対策と対応について

質問

防災対策としての取り組みについて問う。

総務課長

平常時の防災対策として、第一小学校と鳥見山の備蓄倉庫に食料、毛布セット、日用品、段ボールベツトなど、災害用備蓄品として備えている。

また、防災リーダーの育成として、消防団員を地域の防災を担う人材と位置づけ、今年度から防災士取得に取り組んでいく。

新浄水場完成による利用者への対応について

質問

利用者の新浄水場への見学の予定はあるか。

上下水道課長

10月以降、生涯学習事業や社会科見学などで対応していく予定である。

プラスチック使用製品廃棄物の分別収集について

質問

プラスチック新法に合わせた町としての取り組みは、

健康環境課長

須賀川地方保健環境組合やその構成市町村と共に、令和6年度からプラスチック使用製品の収集開始に向けて、分別基準の策定や収集品の再資源化する体制などの検討を進めている。

子どものマスク着用について

質問

子どものマスク着用の弊害を考慮に入れ、今後の対応について教育長の考えは、

教育長

屋外・屋内の活動ともに状況を見極めて対応している。今後も国や県の動向、感染状況等を注視しながら順次検討していきたい。

教育課長

陸上競技場のトラックは令和3年度に改修設計を実施した。実績のある工法として耐久性、改修費用、施工実例から総合的に判断し、切削オーバレイ工法にて、令和5年度以降に改修したいと考えている。

また、メインスタンド等についても公園施設長寿命化計画で改修工事を進めていく予定である。

質問

日本陸上競技連盟公認3種以上の更新の考えはあるか。

教育課長

今後の改修に際しては公認を必要とする競技の開催が少ないことや、公認取得及び継続する経費が相当な金額になると想定されるが、様々な意見を参考に、最善の方向で進めていきたい。

女性が輝く町づくりについて

質問

町として具体的にどのような方針で取り組んでいくのか。

町長

令和2年10月に男女共同参画社会推進に向けた鏡石町共同参画プランが策定された。生涯学習講座などを通じて学習の場を設け、ジョイフル講座をはじめあらゆる機会を通して、個性と能力を發揮できる社会の推進を目指している。

生理の貧困について

質問

どのような方針と具体的な対策を考えているか。

健康環境課長

県が交付金を利用して生理用品を調達し、市町村に配分する予定であるので、町でもそれを困窮者へ配布する事業を検討している。

角田真美議員



- 町長の政治姿勢について
- 町の防災対策と対応について
- 新浄水場完成による利用者への対応について
- 鳥見山陸上競技場の再整備について



吉田孝司議員

- 木賊町長の政治姿勢について
- 鏡石町における地域包括ケアの推進について

一般質問

町長 人口の流出、少子化に歯止めをかけること、「新しい人の流れを」を作り、町が今後も持続していけるような人口構造への転換が求められる。

第6次総合計画の「未来につながる、ずっと安心、みんな元気に、進」が「みいし」をまちの将来像として、展開して参りたい。

町長 前町長との違いをどのように出していくつもりか。

町長 前町長、歴代町長の思いを継承しながら、町の飛躍に全身全霊で取り組む。私なりの違いも出し、町民本意でやっていきたい。

町長 町の人口増加を目指すとしたら、どのような政策が必要か。

町長 町内企業に、国等の制度を活用し、設備の整備や雇用の確保の支援をしてきた。従業員4人以上の事業所で、平成22年と比較すると、令和2年の従業員数は、548人増で2,521人である。

町長 現在、工業団地は完売しており、未利用地の斡旋を行っている。今後、工業団地の整備は、若者の定住、新しい活力等、新たな考えも含め、進めていきたい。

町長 従業員時代に南部工業団地に企業誘致をした。大事な町の政策の一つであるため、新たな考えも取り入れ、誘致を進めたい。

町長 健康福祉センター内に、在宅医療や夜間・休日診療を行う年中無休の町立診療所を設けるのはどうか。

町長 健康福祉センターは、夜間・休日診療を行うための施設及び機能が備わっていないため、現時点での診療所の設置は困難である。

町長 町内で不足している、保健・医療・介護・福祉等の社会資源の種類や程度についての考えや、補うための方策をどう講じるのか。

町長 生活支援が一体的に提供されるよう、システム構築に取り組んでいる。

町長 関係機関との地域ケア会議の機能の中で、保健師等専門職による個別課題解決に対応していく。

町長 居宅介護支援事業所及び介護支援専門員を町内に拡充していく必要性や方策をどう考えるか。

町長 現在町内では一つの事業所のみ介護支援専門員が在籍しており、近隣市町から来ていただきケアプランを作成している状況である。介護サービスは今後も増加すると考えられるため、人材確保も含め継続して問題に取り組んでいきたい。

町長 訪問診療や訪問看護など、在宅医療を行う町内の事業者に対して、町はどのような支援策を考えているか。

町長 国で医療・介護の支援策、報酬改定審議等が進められている。それに併せて、町も介護保険事業を運営しているため、今後も国や県の動向を注視しながら事業を行っていく。



小林政次議員

- 久来石行方蓮池西線の道路改良事業について
- 農村婦人の家の復旧等について
- 駅に降りてみたくなる事業（鏡石駅東口整備事業）について
- 阿武隈川上流遊水地群の整備事業について
- 笠石・鏡田線舗装修繕工事について
- 重度心身障がい者医療費助成制度について
- 新年度予算について

町長 今年度の工事区間、工事内容はどのようなものか。また、急勾配で狭小な坂道、全線の改良工事はいくなるか。

町長 今年度の工事区間（旭紙業側）から以北に延伸施工する。今年度は、橋本畜産南側の坂道頂上付近までを予定しており、坂道については、来年度施工を目指し、引き続き社会資本整備総合交付金事業で県に要望していく。

町長 今後どう対処するのか。

町長 町では、集会施設に限定して既存施設内部の耐震化などにより復旧する方向で進めたい。

町長 駐輪場の整備はいつ頃を予定し、どのような形態になるのか。

町長 現在東口の自転車置場が手狭により、自転車が増え散乱している状況から、今年度中に北側に駐輪場を増設する予定である。

町長 駐車場用地を今年度からイベント等に供用開始することのことであったが、その利用状況については。

町長 新型コロナウイルスの影響で、各種イベント等の中止や規模縮小が余儀なくされているが、7月に開催された全国田んぼアートサミットの関係者や、田植えイベントの準備協力者の駐車場として利用をした。

町長 移転希望者を把握するためのアンケート調査と移転先の用地調査や選定はどこまで進んでいるのか。

町長 国の住民説明会を受けて、町でも移転先の候補地の絞り込みを進めている。また、国が行う意向調査に協力し、地域住民に寄り添った対応を図っていきたい。

町長 施工場所と完成予定時期はいつか。

町長 昨年度施工した中町の南側から以南の笠石方面に延伸して施工予定であり、現場着手は10月、完了工期は11月30日である。

町長 どのような事業を反映させたいと考えているか。

町長 5つの政策課題対策と第6次総合計画、各種事業計画に基づき、一つ一つ新しい町づくりを進めていく。

町長 現在の助成制度に対し、対象者への負担軽減をどのようにすべきかと考えるか。

町長 重度心身障がい者医療費助成制度は、医療費の一部を助成するもので、一度自己負担分を医療機関で支払い、申請により実質医療費が無料となる制度である。今後対象者の負担軽減のために情報収集をし、県に要望活動をしていきたい。



円谷 寛議員

- 成田遊水地計画の取り組みについて
- 企業誘致の促進について
- 米余り対策の取り組みについて
- 町結婚相談所の再設置について
- 町民プール「すいすい」の改善について

一般質問

町長 交付金が該当になるは確認中である。上流にさらなる遊水地に関しては、河川整備計画の見直しも含め、国に要望を図っていきたい。

質問 ダムなどの国有資産には、納付金が入らないとのことであるが、町内の洪水防止のために上流にもう一つの遊水地を作る要求をしてはどうか。

町長 遊水地事業は公共事業であり、町有財産については公共補償の対象となるが、固定資産税の減収や農業生産の経済的損失については、引き続き国に対し強く要望をしていく。

質問 町も地権者同様、補償を求める資格があると考えるが、現行の法制上はどうなっているのか。

成田遊水地計画の取り組みについて

教育長 まだ、米粉の方が小麦粉より高値の状況にあり、学校給食として使用にいたっていないが、米粉の利活用を採っていきたい。

質問 小麦粉の値上がりを考え、米粉の利活用を学校給食などに多く取り入れてはどうか。

米余り対策の取り組みについて

産業課長 現在は産業課振興グループで他業務との兼務により行っているが、今後、実際に工業団地整備の動きが出てくれば、専門に業務にあたるような職員の配置が必要になると考えている。

質問 産業課に企業誘致専門の複数の職員を配置するべきではないか。

企業誘致の促進について

産業課長 まずは、県の「ふくしま結婚・子育て応援センター」などを活用していただきたい。

質問 町結婚相談所を再設置してはどうか。

町結婚相談所の再設置について

産業課長 鏡石町の地域おこし協力隊3名のうち2名は「食」をテーマに町おこしをしている。今後の活動の中で、米をテーマに事業展開ができないか検討していきたい。また、「かんかんてらす」では、令和2年度から米粉を使用したシフォンケーキやスクーンを開発、販売し好評である。

質問 問題解決のために、地域おこし協力隊と「かんかんてらす」の協力を求めているのか。

町民プールすいすいの改善について

教育課長 ※プロポーザル方式とは、複数の者に目的物に対する規格を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。

質問 町民プールの改良の設計を業者にプロポーザル方式（※）で発注し、施設の経費削減と利用者の増加を図ってはどうか。

質問 全国的にも様々な事例があるため、自治体側のメリットとして、住民サービスの向上や公的財政負担の軽減、公園の有効活用が図られる。今後、町民プールの大規模な改修や、周辺施設の整備などにあたっては、公募設置管理制度を含め、様々な制度を活用し、設置費用はもとより、維持管理費用の軽減に努め、利用者に喜ばれる施設にしていきたい。



今泉文克議員

- 新町長木賊正男氏の新しい街づくりについて
- 日本で2番目に素晴らしい鏡石町を目指して
- 大型開発事業について

一般質問

町長 町民憲章をベースに、鏡石元気プロジェクトとして事業をつくっていききたい。

質問 長期的に実施したい事業はあるか。

町長 信頼される行政づくりが必要だと考えており、第一歩として、政策の「見える化」を進めていきたい。

質問 改革すべきことはあるか。

町長 課題に取り組む中で、事業の優先順位を明確にしていく。施設のグレードアップ対策については急務だと考えている。

新町長木賊正男氏の新しい街づくりについて

福祉こども課長 健康福祉センターを健康や福祉の場の拠点として整備している。

質問 健康、医療、福祉の総合センターの実施の考えは。

質問 まず日本で2番になり、次に日本一になる考えはどうか。

総務課長 政策実現に向けた手法として大変参考になる。

町長 市街化調整区域で土地利用のできる手法の調査・研究を行い、引き続き県に立地基準の緩和を要望する。

質問 県中地区都市計画の早急な見直しについて、町長の考えとその対応策は。

日本で2番目に素晴らしい鏡石町を目指して

質問 この10年間の町が取得した土地の内容と件数はどの程度か。

総務課長 施設の整備や社会資本の整備として、宅地や雑種地、田畑、原野など全164筆、計24件を取得した。

質問 目的と価格、利用の予定はどうなっているのか。

産業課長 医療関連企業を含め企業誘致は、現地在が企業側にすぐ引き渡しができる状態になっているかが重要であり、関係課と連携を図って進めていきたい。

質問 駅東開発の26haある工場用地の開発と誘致に、医療関連企業の積極的な誘致をすべきではないか。

大型事業開発について

都市建設課長 鏡石町都市計画マスタープランにおいて、国道118号沿線を北部新拠点ゾーンと位置付けており、田園地帯にふさわしい住宅地の形成等検討することとしている。調査研究の段階で、具体的な整備手法及び時期等は定めたものではなく、長期的な構想である。

質問 高久田住宅団地の開発計画など町の長期計画に無い事業が発表された責任は。また今後もこの計画を行っていくのか。

総務課長 災害公営住宅建設用地（9千88万円）は東町団地として使用。新浄水場建設用地（4千375万円）は本年4月末に建物が完成した。

質問 駅東口整備用地（2千421万円）は現在臨時駐車場整備をはじめ、今後の鏡石駅東口整備事業として利用する計画になっている。

総務課長 駅東口整備用地（2千421万円）は現在臨時駐車場整備をはじめ、今後の鏡石駅東口整備事業として利用する計画になっている。